

認定特定非営利活動法人日本 IDDM ネットワーク 平成 27 年度事業報告

平成 27 年 7 月 1 日から
平成 28 年 6 月 30 日まで

1 事業の成果

○日本 IDDM ネットワークの 3 つの約束

インスリンの補充が必須な患者とその家族一人ひとりが希望を持って生きられる社会を実現するために、平成 22 年度に“救う”“つなぐ”“解決する”の 3 つの約束を掲げました。

そして、平成 23 年度に開催した日本 IDDM ネットワーク法人化 10 周年・1 型糖尿病研究基金設立 5 周年記念シンポジウム開催を機に、最終ゴールは、2025 年に 1 型糖尿病を「治らない」病気から「治る」病気にする事としました。

その約束を果たすための平成 27 年度の主な取り組みは以下のとおりです。

平成 27 年は日本 IDDM ネットワーク創立 20 周年、1 型糖尿病研究基金創設 10 周年にあたり、過去最高の事業をこなしゴールに向けた飛躍のきっかけとなる年だったと思っています。

○“救う”－患者と家族の皆さんに私たちの経験を還元します。

地域患者・家族会への助成金の交付、20 歳以上の患者支援策実現等に対する政策提言、患者の祖父母や学校・幼稚園等への説明用パンフレット、ジュエC グルコース及び 1 型糖尿病 [IDDM] お役立ちマニュアル Part 1～5 の配布、電話・メール等での相談対応、ホームページやフェイスブック等での情報発信、会報の発行などに取り組みました。

政策提言では、20 歳以上の患者支援策実現に向けて活動を展開しましたが、実現には至っていません。平成 27 年 1 月 1 日施行の難病法（難病の患者に対する医療等に関する法律）に基づく対象疾病となり医療費助成が実現することを目指して次年度も引き続き優先課題として取り組みます。

発症初期の患者と家族にとって必要なもの（専門医監修によるわかりやすい医療情報冊子、療養に必要な医療機器やインスリン製剤の一覧、患者・家族の体験談等）を詰め込んだ「希望のバッグ」（平成 26 年 11 月から配布開始し注文殺到のため平成 27 年 4 月で 1000 個の配布を終え一旦休止）プロジェクトは、スポンサー企業、社員と会社のマッチングギフト制度による株式会社大塚商会ハートフル基金、寄付者の皆様のおかげで平成 27 年 9 月から再開することができました。1 型糖尿病が「治る」病気になるまで継続する必要がありますので、毎年発症している全国の患者全員（2000 人を見込）に届けることができるよう今後とも重点事業として取り組んでいきます。

今年度は、ホームページへの訪問件数が前年度比 1.4 倍、フェイスブックへのアクセス件数が前年度比 1.8 倍となり、会報も紙媒体よりもメールマガジンの配信に重点を置いて取り組みましたが、インターネット環境のない、弱い方々への対応が課題です。

また、平成 28 年 4 月 14 日に発生した熊本地震では、東日本大震災の経験等をいかして、翌日から様々な情報提供を行い被災地からの個別の要請に対応しました。

○ “つなぐ”

－患者・家族と研究者、医療者、企業、行政、そして社会とつなぎます。

インスリンポンプとカーボカウントのセミナーは、引き続き好評で定員オーバーで参加をお断りする状態が続きました。多くの医療関係者にも参加いただき、確実に医療・療養環境の充実につながっていると認識しています。

日本語と英語併記で作成した1型糖尿病の絵本は、ふるさと納税の御礼としても活用したことで、海外を含めて全国47都道府県の病院、図書館等累計で1005か所に置くことができました。このほか、「僕はまだがんばれるー“不治の病”1型糖尿病患者、大村詠一の挑戦ー」（じゃこめてい出版）、山田圭子様の漫画「【1型】～この赤ちゃん1型糖尿病です～」（秋田書店）、学校等での各種講演、さらに、テレビ、新聞、雑誌等でたくさん取り上げていただき、1型糖尿病の認知度が大きく向上したと認識しています。

さらに、メディアとの関係強化やオウンドメディアサイトの構築等を目指して準備に着手しました。患者自身によるフリーマーケットや音楽会での能動的な啓発活動も増えつつあります。

また、京都大学大学院薬学研究科医薬産業政策学講座柿原浩明教授が中心になって取り組む「1型糖尿病患者に対する医療費の公的援助のための医療経済的研究」に研究助成を行い、1型糖尿病医療費の現状や社会経済的背景を把握し、患者に対する公的援助の政策提言にいかします。

○ “解決する”

－研究者の方々に研究費を助成し、1型糖尿病の根治への道を開きます。

1型糖尿病の治療につながるあらゆる先進的な研究を応援する「1型糖尿病研究基金」による公募型の第7回研究費助成（1件300万円）、第8回研究費助成（3件300万円）、第9回研究費助成（3件900万円）を行い、続いて第10回の公募も行い4件500万円の助成を決定しました。

さらにバイオ人工膵島移植の研究に対し2件5000万円の研究費助成を行い、本年度は件数、金額ともに過去最高の研究助成となりました。

これにより累計では、助成件数26件、助成金額8500万円となりました。

『1型糖尿病 2025年「治らない」から「治る」へ』をテーマに据えた日本IDDMネットワークサイエンスフォーラムは、ふるさと納税の日本IDDMネットワーク指定で尽力いただく佐賀県庁へお礼、佐賀県への貢献の意味も込めて本部のある佐賀県で初めて開催しました。エンディングでは多くの患者が自らの夢を語り過去最高の充実した内容であったと認識しています。

1型糖尿病を「治る」病気に変えようとしている医療者・研究者や患者・家族のみならず病気を知らない方々の参加も得て、「治る」病気になることへの期待感が高まっています。

1型糖尿病の根治のため、寄付に対し税制優遇措置が受けられる全国初の所轄庁（都道府県・政令市）認定特定非営利活動法人として、その利点をいかすために様々なメニューを用意して寄付のお願いをしました。

基金の名前や金額、助成対象などを自由に決められる、寄付者の方の思いに合ったプログラム“冠基金”の第2号として、3000万円のご寄付による「山田和彦1型糖尿病根治基金」を創設しました。

研究推進のために寄付つき商品（販売額の一定割合を1型糖尿病研究基金に寄付）として、以下の4社に新たにご協力いただくことになりました。

- ・i_illumi（滋賀県）：インスリン治療用ポーチ
- ・小島芳栄堂（佐賀県）：有田焼

本年が有田焼創業400年の記念すべき年であることに合わせて、患者のご両親が営む小島芳栄堂様が、十五代酒井田柿右衛門様や人間国宝井上萬二様はじめ著名な先生方の協力を得てスタートされました。

- ・有明の風（佐賀県）：有明海産の海苔

日本一の海苔の生産地”佐賀県の有明海”で、患者のご両親・親戚とでこだわって育てた初摘み海苔（最高級の海苔）です。

- ・株式会社マザーレンカ（東京都）：ベルギーチョコレート

本格的味わいのプレミアムベルギーチョコレート“ドクターズチョコレート（低GIチョコレート）”です。

このほか、阪神タイガースの岩田稔投手の1勝10万円寄付、ノーモア注射希望の本プロジェクト（家庭や職場で不要になった本を提供していただき寄付へ）、書き損じはがきプロジェクト（家庭や職場にある書き損じ、未使用のはがきを提供していただき寄付へ）等多彩なメニューによる取り組みもあり、本年度の1型糖尿病研究金には45,405,058円（佐賀県庁へのふるさと納税を除く、前年度比3.9倍）という過去最高の寄付がよせられ、今後の研究進展が加速できると自信が持てるようになりました。

こうした寄付メニューの中でもノーモア注射マンスリーサポーター（1口1,000円を毎月口座から自動的に引き落とし）の強化に取り組み、340口147名（前年度比12名増）となりましたが、外部委託による効果は十分に出ておりません。次年度は改善して取り組みます。「希望の自動販売機プロジェクト」は、企業、医療機関、公共施設、ショッピングセンター等にご協力いただき、設置台数が55台（当年度17台新設）となりました。この自動販売機は、売上の一部が寄付になるだけでなく、1型糖尿病のことを掲示しており、病気の啓発にも寄与しています。

gooddo(グッドゥ)（毎週「応援する！」ボタンやサポーター企業への「いいね！」のクリックで得られたポイントに応じて支援金が届けられます。さらに、上位10団体までは、支援金額が2倍になります。）は、10位以内をほぼ全週達成し、研究費助成の財源はもとより、累計で60万人を超える方々が日本IDDMネットワークのページを訪れ、1型糖尿病の啓発にも寄与したものと思います。

ソフトバンク株式会社様の「かざして募金」（スマートフォンなどから簡単に寄付ができるサービス）では、日本IDDMネットワークの『1型糖尿病「治らない」から「治る」—“不可能を可能にする”—を応援する100人委員会』委員が100人に対して”毎月100円”の継続的なご寄付を呼びかける「100人×100人プロジェクト」やマッチング寄付キャンペーンに取り組み、996,100円（前年度比1.8倍）となりました。

佐賀県とふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」（株式会社トラストバンク運営）のご協力により、「日本IDDMネットワーク」を指定した佐賀県庁へのふるさと納税（寄付）に取り組みました。平成27年度（佐賀県庁の会計年度：4月－3月）は2600件、109,046,500円と開始後2年目に

して1億円を突破しました。この取組は新聞、テレビでも大きく紹介されました。なお、平成28年度(同)は、6月末現在330件、7,306,000円の指定寄付を頂戴しています。寄付額の95%が佐賀県庁から当法人へ寄付される見込みです。主に研究費助成のために活用いたします。

特にふるさとチョイスでは「バイオ人工膵島移植研究支援」のために広報キャンペーンを実施し、本年度2件、5000万円の研究助成を実現することができました。この研究助成と時期を同じくしてブタの細胞をヒトへ移植可能とする国の指針改定の方が示されました。ふるさと納税にあたっては、たくさんの応援メッセージを頂戴し、さらに、申し込まれている方々の9割が患者・家族以外と推測され、この研究支援寄付が1型糖尿病の啓発にも大きく寄与しています。本年4月からはいよいよ「バイオ人工膵島」を作成するために必要な「細胞加工センター」の国内設立を目標としてふるさとチョイスで新たなプロジェクトとして取り組んでいます。

READYFOR? (レディーフォー) (運営: READYFOR 株式会社) の寄付型クラウドファンディング“READYFOR Charity”では「注射を打つ毎日を変えたい。全ての糖尿病患者に移植のチャンス」と題して、バイオ人工膵島移植実現の基盤整備として医療用ブタの確保のためのオペ室と無菌飼育室の建築のために目標2000万円で挑戦しましたが目標に到達できませんでした。次年度は目標金額を見直して再度クラウドファンディングに挑戦することとしています。

さらに本年は、患者で構成するバンド「1-GATA」様のファーストシングル「キミ」の収益金寄付やチャリティライブ、患者を主人公にした漫画を出版された山田圭子様による印税寄付、くりはら歯科医院様による入れ歯(貴金属)リサイクル寄付、チャリティ専門のファッションブランドJAMMIN 合同会社様によるTシャツチャリティ等、支援の申し出を多数いただきました。

なお、前年度に引き続き、ファンドレイジング(資金調達)業務の委託を行いました。成果を得ることはできず、役員が中心になって取り組むこととしました。

平成23年1月に発足した『1型糖尿病「治らない」から「治る」—“不可能を可能にする”—を応援する100人委員会』の委員は137名となりました(前年度末比20名増)。ノーベル医学・生理学賞を受賞された京都大学iPS細胞研究所長の山中伸弥氏をはじめ、作家・映画監督の村上龍氏、プロ野球阪神タイガースの岩田稔氏、京都大学名誉教授の西川伸一氏、株式会社大塚製薬工場研究開発センター特別顧問の松本慎一氏ほか様々な分野の方々に“参加”いただいています。加えて『1型糖尿病「治らない」から「治る」—“不可能を可能にする”—を応援する希望の100社委員会』は前年度と変わらず18企業・団体で、「治る」活動支援等の参加表明をいただいています。

こうした様々な事業の結果、1型糖尿病研究基金の決算額が初めて1億円の大台を超え(収入ベースで対前年度比4.1倍)、ふるさと納税の御礼の品、ふるさとチョイス掲載等の広報事業費が増加しましたが、根治に向けての研究費支援は着実に前進しており、2025年には1型糖尿病が“治る”病気になる可能性の高まりを感じました。

また、日本IDDMネットワークは平成12年に佐賀県に本部を移転した団体として、もっと佐賀県への貢献を行うべきことを100人委員の大西健丞氏が代

表を務める特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン及び特定非営利活動法人アジアパシフィックアライアンスジャパン（A-PADジャパン）や佐賀県庁のふるさと納税NPO等支援を通して学びました。本年度は、100人委員の中から、日本初の臍島移植医でバイオ人工臍島移植の権威でもある松本慎一医師に、佐賀大学医学部や佐賀市立北川副小学校で講演を行ってもらい、ふるさと納税の返礼品には、佐賀の「女性の活躍」を意識したこだわりの佐賀県産品（有田焼等の伝統工芸品、海産物、農産物等）を贈りました。次年度以降はさらに本部所在地である佐賀県への貢献を意識して取り組みたいと考えています。

管理運営面では、上記のように業務が拡大しており、業務委託を進めながらも役職員が相当無理をしています。本年3月には井上理事長が病に倒れ、岩永副理事長兼事務局長が理事長の代行を務め、大村専務理事は自らが熊本地震の被災者となりつつも地震被災者支援活動に限らずこれまで以上に業務を担うことになりました。本年度は、女性の活躍が活動のさらなる充実につながることを期待し、正職員1名、パートタイム職員3名（4名中2名は在宅勤務）体制（前年度比1名増）としました。常勤の役員及び事務局長の不在と言う長年の課題が解決できておらず、マネジメント不足による職員の入れ替わりの多い年となりましたが経験を積みながら徐々に充実した事務局体制になりつつあります。加えて、新たに弁護士事務所、社会保険労務士法人と顧問契約を締結し、顧問税理士とともに社会的信用が得られる認定特定非営利活動法人として組織基盤の強化を図りました。また、今年度も78名のボランティアの方々に助けられました。

日本IDDNetworkは、3年連続で過去最高の決算額を更新しています。しかもこの1年で2.9倍の収入増を達成しました。ミッション達成に向けて、患者・家族のみならず一般社会を巻き込んだ共感の輪が広がりつつあります。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
ネットワークの拡大・支援					患者及びその家族等	101
ネットワークの拡大・支援	<p>○地域患者・家族会の活性化のために下記の団体に助成金を2万円交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つぼみの会愛知・岐阜 ・岡山小児糖尿病協会 ・特定非営利活動法人補色の会 ・長崎県小児糖尿病ことこのうみの会 ・広島「もみじの会」 	<p>9月28日 9月28日 10月12日 12月11日 5月16日</p>	佐賀市 大津町	3人	<p>300人 68人 97人 250人 110人</p>	
ネットワークの拡大・支援	<p>○地域患者・家族会の下記の事業に対し、後援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つぼみの会愛知・岐阜主催の「1型糖尿病患者の療養および学校との連携についての教職員向け研修会」 ・岡山小児糖尿病協会(岡山つぼみの会)主催の「1型糖尿病患者の療養及び学校との連携についての研修会」 ・つぼみの会三重主催の「先生方と患者・家族との研修会」 ・佐賀県糖尿病協会、佐賀糖尿病療養指導士会等主催の「第2回佐賀 type1DM サロン」 ・佐賀県糖尿病協会、佐賀糖尿病療養指導士会等主催の「第3回佐賀 type1DM サロン」 	<p>7月29日 8月22日 8月25日 11月15日 3月6日</p>	<p>名古屋市 岡山市 津市 唐津市 嬉野市</p>	<p>1人 1人 2人 2人 2人</p>	<p>82人 68人 85人 67人 62人</p>	
情報収集提供・政策提言					患者及びその家族等	6936
情報収集提供・政策提言	<p>○発症初期の患者と家族にとって必要な情報を詰め込んだ「希望のバッグ」配布を再開した。</p> <p><バッグに入っているもの></p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門医による医療情報冊子「1型糖尿病とその治療について最初に知ってもらいたいこと」 ・療養に必要な医療機器やインスリン製剤の一覧 ・患者と家族の体験談 ・学校、幼稚園、保育園への説明用パンフレット ・注射器や血糖測定器を入れるポーチほか <p>○このプロジェクトは、協賛11社、助成1社(大塚商会「ハートフル基金」)及び個人・団体からのご寄付で再開に至った。</p>	9月～	東京都 安城市 佐賀市 大津町 ほか	9人	1200人	

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
情報収集提供・政策提言	○難病指定等による20歳以上の患者への公的支援の実現に向けて国との意見交換や「小児慢性特定疾病その他の疾病にかかっていることにより長期にわたり療養を必要とする児童等の健全な育成に係る施策の推進を図るための基本的な方針(案)」に関する意見提出(パブリックコメント)を行った。	通年	東京都 安城市 佐賀市 ほか	3人	60000人	
情報収集提供・政策提言	○「無自覚性の低血糖症」における運転免許制限の適正な運用について、警察庁と意見交換を行った。	9月	東京都 安城市	2人	60000人	
情報収集提供・政策提言	○再生医療研究推進のため国との意見交換やクローン法で禁止されている「動物性集合胚」の動物胎内への移植に関する規制緩和について文部科学大臣へ要望書を提出した。	10月 ~12月	東京都 安城市 佐賀市	2人	60000人	
情報収集提供・政策提言	○特別児童扶養手当等の支給に関する法律施行令別表第3における障害の認定要領の一部改正(案)についての意見提出(パブリックコメント)を行った。	3月10日	安城市 佐賀市 ほか	4人	20000人	
情報収集提供・政策提言	○自民党政務調査会公益法人・NPO等特別委員会との意見交換会で、行政に依存するのではなく「自発の地域づくり」のために寄付税制が後退しないよう意見を述べた。	4月2日	福岡市	1人	60000人	
情報収集提供・政策提言	○患者の祖父母向けパンフレットを患者・家族等へ配布した。	通年	佐賀市 ほか	3人	20000人	
情報収集提供・政策提言	○東京学芸大学と協働で作成した学校、幼稚園等での説明用パンフレット「教えて、りんりん! RinRin 1型糖尿病ってどんな病気?」を患者・家族等へ配布した。	通年	佐賀市 ほか	3人	20000人	
情報収集提供・政策提言	○カバヤ食品(株)様から提供いただいたブドウ糖(グルコース)を主成分とした手軽な糖分補給が可能なタブレット「ジューCグルコース」を患者・家族等へ配布した。 ○ジューCグルコースは、7月から10本セット、20本セットも登場した。 ○この取り組みは、NPOと企業との優れたパートナーシップ事例を表彰する「第11回日本パートナーシップ大賞」で「グランプリ」に選ばれており、その事例集が特定非営利活動法人パートナーシップ・サポートセンターから発行された。	通年	岡山市 佐賀市 ほか	6人	60000人	

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
情報収集提供・政策提言	○「1型糖尿病[IDDM]レポート2015」(IDDM白書)を3000部作成し、ホームページ上でも公開した。	11月～	春日井市 安城市 佐賀市 大津町	6人	60000人	
情報収集提供・政策提言	○カーボカウント&先進デバイス活用セミナーを開催した。	1月17日 2月14日 3月13日 4月9日	東京都 東京都 東京都 大阪市	21人 15人 17人 22人	107人 94人 112人 95人	
情報収集提供・政策提言	○糖尿病に関する様々な情報を発信するオウンドメディア開設やメディアとの関係強化等に向けて準備を開始した。	6月～	船橋市 東京都 佐賀市 大津町	4人	60000人	
情報収集提供・政策提言	○Facebookでの1型糖尿病に関する情報発信を強化し、前年度より1.8倍のアクセス(1,165,109件)があった。	通年	大津町 佐賀市 ほか	4人	60000人	
情報収集提供・政策提言	○日本糖尿病学会年次学術集会、日本膵・膵島移植研究会等で情報収集や情報発信を行った。	通年	東京都 京都市 広島市 ほか	3人	60000人	
調査研究					患者及びその家族等	2258
調査研究	○1型糖尿病医療費の現状や社会経済的背景を把握し、患者に対する公的援助の政策提言にいかすため、京都大学大学院薬学研究科医薬産業政策学講座柿原浩明教授が中心になって取り組む「1型糖尿病患者に対する医療費の公的援助のための医療経済的研究」に対し100万円の助成を行った。	8月～	京都市 安城市 佐賀市	2人	60000人	
調査研究	○1型糖尿病患者・家族等に必要な情報を網羅した「1型糖尿病[IDDM]お役立ちマニュアル」Part1からPart5(別冊を含む6種類)を配布・販売した。 ○「1型糖尿病[IDDM]お役立ちマニュアル」Part1からPart5(別冊を含む6種類)をPRするチラシを5000部作成した。	通年	佐賀市 ほか	4人	60000人	
調査研究	○スタンフォード大学が開発した「セルフマネジメントプログラム」の普及に取り組む特定非営利活動法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会への協力を行った。	通年	佐賀市	1人	60000人	
調査研究	○以下の調査・研究等に協力を行った。 ・認定特定非営利活動法人等の活動状況に関するアンケート調査(内閣府) ・特定非営利活動法人に関する実態調査(内閣府)	通年	佐賀市	1人	60000人	

2 事業の実施に関する事項
 (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
関係団体との連携					患者及びその家族等	10
関係団体との連携	○JDRF(米国の1型糖尿病研究財団)、日本糖尿病学会関係者、研究者等と1型糖尿病患者の将来のために情報交換等を行った。	通年	東京都 安城市 佐賀市 ほか	3人	60000人	
普及啓発					患者及びその家族等	313
普及啓発	○「僕はまだがんばれるー“不治の病”1型糖尿病患者、大村詠一の挑戦ー」(じゃこめてい出版)を配布・販売した。	通年	佐賀市 大津町 ほか	3人	60000人	
普及啓発	○日本メドトロニック株式会社主催の記者説明会「生活習慣病ではない糖尿病があることを知っていますか？1型糖尿病患者がよりよい学校生活を送るために」で井上龍夫理事長が講演等を行った。	7月21日	東京都	1人	60000人	
普及啓発	○阪神タイガース岩田稔投手(1型糖尿病患者)の患者との試合観戦・交流会(阪神対横浜DeNA戦、阪神対ヤクルト戦)に協力し、スポーツ新聞4紙に取り上げられた。	7月26日 8月2日	西宮市 西宮市	7人 7人	60000人	
普及啓発	○日本糖尿病協会が取り組むサマーキャンプ等に大村詠一専務理事が参加し、患者・家族、医療従事者等に対し体験談などの講演を3回行った。	8月	千葉市 ほか	1人	60000人	
普及啓発	○自衛隊員向けの新聞「自衛隊スポーツ」に1型糖尿病と大村専務理事が掲載された。	9月17日	大津町	1人	60000人	
普及啓発	○あいち県民健康祭にブース出展し、1型糖尿病についての啓発活動を行った。	9月19日 ~20日	大府市	2人	60000人	
普及啓発	○アクサ生命のFacebookに1型糖尿病と「希望のバッグ」プロジェクトについて掲載された。	11月4日	佐賀市 大津町	2人	60000人	
普及啓発	○「第5回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミットin滋賀」で岩永幸三副理事長が1型糖尿病と当法人の活動について紹介した。	11月22日	湖南省	1人	60000人	

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
普及啓発	○NHK Eテレ ハートネットTVで「ブレイクスルー File.45 夢をあきらめる病気じゃない —エアロビック選手 大村詠一さん—」が放映され、1型糖尿病の啓発につながった。	12月14日 12月21日	大津町 ほか	1人	60000人	
普及啓発	○AMDD(米国医療機器・IVD工業会)のニューズレターVol.21に大村詠一専務理事の「新たな血糖測定器への期待と課題」が掲載された。	2月	大津町	1人	60000人	
普及啓発	○毎日新聞に「入園拒否やめて」担任が経験を資料に 門真の幼稚園教諭」が掲載され、1型糖尿病や当法人のコメントも紹介された。	2月9日	安城市	1人	60000人	
普及啓発	○特定非営利活動法人難民を助ける会(AAR Japan)の理事長ブログ第27回「私のいちばん長い日、そして世界から寄せられた支援」の中で、海外でのインスリン依存型の糖尿病患者支援、日本IDDMネットワーク及び岩永事務局長との縁について紹介された。	3月23日	佐賀市	1人	60000人	
普及啓発	○2016年の世界保健デー(4月7日)のテーマが糖尿病であることから、ソフトバンク社様のフェイスブック、ツイッター等で1型糖尿病と日本IDDMネットワークの活動について配信された。	4月7日	佐賀市 大津町	2人	60000人	
普及啓発	○一般財団法人地域活性化センター主催の『平成28年度第1回土日集中セミナー「志を共有する、新しい多様な資金獲得～具体的な手法から目的実現までの道すじをまなぶ～」で岩永幸三副理事長が「認定NPO法人日本IDDMネットワークの“不治の病”を“治る病”にするファンドレイジング(資金調達)」と題する講義とパネルディスカッションに登壇し1型糖尿病の啓発を行った。	5月14日	東京都	1人	60000人	
普及啓発	○特定非営利活動法人ジャパン・カインドネス協会発行の「ゆび募金だより」第15号に1型糖尿病と当法人の活動について掲載された。	6月1日	大津町	1人	60000人	
普及啓発	○100人委員の中から、日本初の膵島移植医でバイオ人工膵島移植の権威でもある松本慎一医師が、佐賀大学医学部と佐賀市立北川副小学校で講演を行った。	6月24日	佐賀市	3人	60000人	

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
普及啓発	○「1型糖尿病」の絵本を贈ろう！プロジェクト～「1型糖尿病」を知ってもらうための絵本を全国の病院の待合室などに届けたい！～及びふるさと納税の返礼品として贈ることで、これまでに海外、全国47都道府県の病院、図書館等1005か所に絵本を置くことができた。	通年	佐賀市 大津町 ほか	11人	60000人	
普及啓発	○全国各地の小・中学校、高等学校、公民館、イベント等で、大村詠一専務理事が1型糖尿病に関する講演を24回行った。	通年	全国各地	1人	60000人	
普及啓発	○日本テレビ、テレビ朝日、読売テレビ、NHK佐賀放送局、朝日中高生新聞、東京新聞、下野新聞等からの1型糖尿病、患者の学校生活や就職問題、ふるさと納税による研究資金調達、異種移植等に関する取材協力を行った。	通年	船橋市 安城市 佐賀市 大津町	5人	60000人	
療育相談					患者及びその家族等	931
療育相談	○電子メール(94件)、面談(7件)、相談電話(146件)、ホームページ(489, 492件)等を通して、様々な相談等に対応した。	通年	船橋市 東京都 安城市 木津川市 佐賀市 大津町 和水町 ほか	12人	60000人	
療育相談	○1型糖尿病を持つ女性・家族と看護職者のためのセミナー「共に語ろう妊娠・出産」を糖尿病と女性のライフサポート研究会・「糖尿病女性のリプロダクティブヘルスに関わる支援ネットワークシステムの構築」研究班と共催で開催した。	11月29日	さいたま市	21人	61人	
会報発行					患者及びその家族等	145
会報発行	○会員等への情報提供のため、会報8月号を4000部発行した。	8月25日	佐賀市 ほか	3人	60000人	
会報発行	○会員等への情報提供のため、メールマガジンを配信した。	8月26日 10月1日 11月13日 12月28日 2月26日 4月21日 4月27日 5月12日 5月26日 6月2日 6月9日 6月16日	佐賀市 大津町 ほか	8人	60000人	

2 事業の実施に関する事項
 (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
熊本地震対策					患者及びその家族等	0
熊本地震対策	<p>○発生の翌日(4月15日)からホームページでの情報提供及び被災地からの個別の要請(7件)に応じて、医療機関や薬局の紹介並びにブドウ糖、カーボカウントに用いるデジタルスケールの送付等を行った。</p> <p>○アトピー・アレルギー性疾患患者・家族を支援する特定非営利活動法人アトピッ子地球の子ネットワーク(東京都)と協働でポスター(相談窓口掲載)を作成し、被災地の医療機関等で周知した。</p> <p>○緊急問い合わせ用の窓口を設定し、災害支援のプロである特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン(本部:広島県神石高原町)及び特定非営利活動法人アジアパシフィックアライアンスジャパン(佐賀県)に緊急時のインスリン供給の協力要請を行った(実際の出動はなかった)。</p> <p>○関東地方の患者・家族から地震への不安相談12件に対応した。</p>	4月15日 ~	東京都 佐賀市 熊本市 大津町 西原村 南阿蘇村 益城町 ほか	6人	60000人	

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 研究費助成					患者及びその家族等	65000
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 研究費助成	<p>○1型糖尿病の根絶につながるあらゆる研究を応援する「1型糖尿病研究基金」の第7回研究費助成の公募を行い、12件の応募の中から下記1件の助成を行った。</p> <p>・ウイルス糖尿病高感受性マウスの開発ー糖尿病誘発性ウイルスの同定によるワクチン開発を目指してー</p> <p>研究代表者:永淵正法九州大学大学院医学研究院教授 助成額:300万円</p>	7月10日	東京都 安城市 佐賀市 大津町 ほか	12人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 研究費助成	<p>○1型糖尿病の根絶につながるあらゆる研究を応援する「1型糖尿病研究基金」の第8回研究費助成の公募を行い、12件の応募の中から下記3件の助成を行った。</p> <p>※佐賀県庁の平成26年度の協力により実施した「日本IDDMネットワーク指定のふるさと納税」による寄付金を主たる財源とし、「iPS細胞による再生医療」を重点課題とした。</p> <p>・ダイレクトリプログラミングによるヒト体細胞からβ細胞(iβC)の高効率作出法 研究代表者:松本征仁埼玉医科大学ゲノム医学研究センター講師 助成額:100万</p> <p>・糖尿病治療のための人工膵臓を目指した薬物放出システムの開発(継続) 研究代表者:三林浩二東京医科歯科大学生体材料工学研究所教授 助成額:100万</p> <p>・iPS 腸管(iGut)を用いた膵臓(iPanc)の臓器分化誘導法の開発(継続) 研究代表者:山田高嗣奈良県立医科大学消化器・総合外科講師 助成額:100万</p>	11月20日 11月27日 1月13日	東京都 安城市 佐賀市 大津町 ほか	12人	60000人	

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 研究費助成	<p>○iPS細胞による1型糖尿病の根治に向けての研究を応援する「1型糖尿病研究基金」の第9回研究費助成の公募を行い、4件の応募の中から下記3件の助成を行った。</p> <p>※第8回と同じく佐賀県庁の平成26年度の協力により実施した「日本IDDMネットワーク指定のふるさと納税」による寄付金を財源とし、「iPS細胞による再生医療」を重点課題としてあらためて募集した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・iPS細胞由来組織前駆細胞を利用した動物体内での膵臓作成法の開発 研究代表者: 山口智之 東京大学医科学研究所幹細胞治療研究センター特任准教授 助成額: 100万 ・ヒトiPS細胞から膵島の作製と機能を維持する培養方法の開発 研究代表者: 糸昭苑 東京工業大学大学院生命理工学研究科教授 助成額: 600万 ・1型糖尿病に対する再生医療開発のためのiPS細胞由来移植用膵細胞の高効率分化誘導法と純化法の開発 研究代表者: 長船健二 京都大学iPS細胞研究所増殖分化機構研究部門教授 助成額: 200万 	2月29日 3月28日 3月31日	東京都 安城市 佐賀市 大津町 ほか	14人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 研究費助成	<p>○1型糖尿病の根絶につながるあらゆる研究を応援する「1型糖尿病研究基金」の第10回研究費助成の公募を行い、8件の応募の中から下記4件の助成を決定した。</p> <p>※研究助成重点対象分野を、現在のインスリン補充療法を発展させる「治療」として募集した。</p> <p>※助成金の交付は平成28年度に実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1型糖尿病患者における、カーボカウントに加えて脂質・タンパク質摂取にも対応できる新規追加インスリン投与方法の開発 研究代表者: 川村智行 大阪市立大学大学院発達小児医学教室講師 助成額: 100万円(最長3年間) ・1型糖尿病を発症しない動物モデルの確立と発症抑制機序の解明 研究代表者: 宮寺浩子 筑波大学医学医療系助教 助成額: 100万円 ・次世代シーケンス法を駆使した1型糖尿病原因遺伝子の同定とβ細胞機能廃絶予知予防への応用 研究代表者: 能宗伸輔 近畿大学医学部 内分泌・代謝・糖尿病内科講師 助成額: 100万円 ・インスリンによらない1型糖尿病の薬物治療の可能性 研究代表者: 森山賢治 武庫川女子大学薬学部 臨床病態解析学講座教授 助成額: 200万円 	1月～6月	東京都 安城市 佐賀市 大津町 ほか	12人	60000人	

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 研究費助成	<p>○佐賀県庁の平成27年度の協力により実施した「日本IDDMネットワーク指定のふるさと納税」による寄付金を財源とし、根治への一番の早道と考えられる「バイオ人工膵島移植」研究に対し下記2件の助成を行った。</p> <p>・臨床応用を目指したバイオ人工膵島移植の開発 研究代表者: 霜田雅之 国立国際医療研究センター研究所膵島移植プロジェクトプロジェク ト長 助成額: 3,000万円 [2015年6月2日-10月21日、11月20日-12月31日 ふるさとチョイス掲載プロジェクト]</p> <p>・臨床応用にむけたバイオ人工膵島の長期生着に関する研究 研究代表者: 小玉正太 福岡大学基盤研究機関再生医学研究所所長 助成額: 2,000万円 [2015年6月2日-10月21日、11月20日-12月31日 ふるさとチョイス掲載プロジェクト]</p>	3月31日 5月31日	東京都 安城市 福岡市 佐賀市 大津町	6人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) シンポジウム					患者及びその家族等	1040
1型糖尿病研究基金 (特別会計) シンポジウム	<p>○「日本IDDMネットワークサイエンスフォーラムー1型糖尿病 2025年『治らない』から『治る』へーin佐賀」を開催した。</p> <p>・1型糖尿病研究基金助成対象研究の紹介 ・「【1型】～この赤ちゃん1型糖尿病です～」の作者、山田圭子さん(漫画家)の講演と映画化の発表</p> <p>・サイエンスカフェ等の分科会</p> <p>①「バイオ人工膵島移植」 ②「糖尿病誘発性ウイルスの同定によるワクチン開発」 ③「ダイレクトリプログラミングによるヒト体細胞からβ細胞(iβC)の高効率作出法」 ④「先進デバイスによるインスリン療法」 ⑤「患者の妊娠と出産」 ⑥「発症初期の患者・家族の交流会」 ⑦「高齢患者の交流会」 ⑧「成人発症患者の交流会」 ⑨「熊本地震にあわれた患者・家族との交流会」</p> <p>・クロージングセッション～患者・家族によるドリームプラン・プレゼンテーション～ 太田晃司(カメラマン:患者)、野口進之介(プロウエイクボーダー:患者)、吉田敬(1-GATAキーボーディスト:患者)、小島基靖(医師:患者)、笹原加奈子・瑠夏(日本IDDMネットワーク職員、患者・家族)、大村詠一(日本IDDMネットワーク専務理事:患者)</p>	6月25日	鳥栖市	66人	147人	

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報					患者及びその家族等	25102
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○1型糖尿病「治らない」から「治る」ー“不可能を可能にする”ーを応援する100人委員会の委員が137名となった。 ＜100人委員会の役割＞ ・不可能を可能にするこの取り組みを“社会に発信”する。 ・不可能を可能にするこの取り組みの“戦略に助言”する。 ・不可能を可能にするこの取り組みに“参加”し患者と家族に勇気を与える。	通年	安城市 佐賀市 大津町	3人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○1型糖尿病「治らない」から「治る」ー“不可能を可能にする”ーを応援する希望の100社委員会の委員が18社・団体のままであったが、各社・団体からは、様々な「治る」活動支援等の参加表明が寄せられている。	通年	佐賀市	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○1型糖尿病研究基金のマンスリーサポーター獲得施策をgooddo株式会社に委託して取り組んだ。	通年	東京都 岡山市 佐賀市 大津町	4人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○gooddo株式会社様のご協力で、社会貢献プラットフォーム「gooddo」で日本IDDMネットワークへの応援クリック、いいね等で1型糖尿病根治に向けた研究支援を呼びかけた。	通年	佐賀市 大津町 ほか	3人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○公益財団法人パブリックリソース財団様のご協力により、オンライン寄付サイト「Give One(ギブワン)」で「不治の病“1型糖尿病”の子どもたちを助きたい！」と題して、1型糖尿病研究基金への寄付をお願いした。	通年	船橋市 佐賀市 ほか	4人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○「ふるさとチョイス」(株式会社トラストバンク運営)と協働し、佐賀県庁への日本IDDMネットワーク指定のふるさと納税(寄付)で、バイオ人工膵島研究開発プロジェクト支援を呼びかけた。 目標:30,000,000円 実績:31,267,000円 1215人からの支援申込有	(6月2日)～ 10月21日	東京都 安城市 神戸市 佐賀市 大津町	9人	60000人	

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○「ふるさとチョイス」(株式会社トラストバンク運営)と協働し、佐賀県庁への日本IDDMネットワーク指定のふるさと納税(寄付)で、バイオ人工膵島移植プロジェクト支援を呼びかけた。 目標:20,000,000円 実績:41,504,000円 865人からの支援申込有	11月20日 ~ 12月31日	東京都 神戸市 佐賀市 大津町	7人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○「ふるさとチョイス」(株式会社トラストバンク運営)と協働し、佐賀県庁への日本IDDMネットワーク指定のふるさと納税(寄付)で、バイオ人工膵島を作成するために必要な「細胞加工センター」設立のための支援を呼びかけた。 目標:100,000,000円 ※後日70,000,000円へ変更	4月26日 ~	船橋市 東京都 岡山市 佐賀市 大津町	7人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○日本IDDMネットワークを指定して佐賀県庁へふるさと納税をしていただいた方々へ、佐賀県の患者家族によるこだわりの品(有田焼、有明海産海苔)及び1型糖尿病根治の取り組みに共感頂いた佐賀の生産・加工業者の方々によるこだわりの品(農産物、伝統工芸品等)をお礼として送付した。	通年	佐賀市 唐津市 伊万里市 小城市 嬉野市 有田町 太良町	7人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○佐賀県庁へのふるさと納税による研究費助成課題募集について、毎日新聞に掲載された。	7月2日	佐賀市	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○新潟日報事業社「CARREL キャレル」に1型糖尿病と治療・根治・予防研究助成のためのふるさと納税の取り組みが紹介された。	7月20日	佐賀市	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○ソフトバンクモバイル株式会社の「かざして募金」(スマートフォンなどから簡単に寄付ができるサービス)で、『1型糖尿病「治らない」から「治る」—“不可能を可能にする”—を応援する100人委員会』委員が100人に対して“毎月100円”の継続的なご寄付を呼びかける「100人×100人プロジェクト」を実施した。 実績:113件、219,100円	8月1日 ~ 9月30日	仙台市 安城市 伊勢市 佐賀市 大津町	5人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」メールマガジンで、1型糖尿病及び根治研究費支援を募集する佐賀県庁への日本IDDMネットワーク指定のふるさと納税が紹介された。	8月31日	佐賀市	1人	60000人	

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○EIWA MOOK「家計に！地方に！日本に！いいことづくめのふるさと納税ランキング 2015-2016年版」に1型糖尿病とバイオ人工膵島移植研究支援のためのふるさと納税の取り組みが紹介された。	10月1日	佐賀市	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○株式会社マザーレンカ様の「ドクターズチョコレート」のオンラインショップからの売上の2%が1型糖尿病研究基金へ寄付されることになった。	11月～	東京都	3人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○佐賀県主催の「ソーシャルなチカラで地域にイノベーションを生み出そうセミナー」で岩永幸三副理事長が、「“ふるさと納税の活用” 2025年の1型糖尿病根治の祝杯を目指して」と題する講演を行った。	11月25日	東京都	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○1型糖尿病研究基金への歳末寄付を会員ほか関係者へお願いした。	12月	安城市 佐賀市 大津町 ほか	6人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○本年から始まった全国的な寄付啓発キャンペーン「寄付月間～Giving December～」の賛同パートナーとして、1型糖尿病の”根絶”を目指して、様々な寄付メニューへの協力を呼びかけた。	12月	佐賀市	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○佐賀新聞に「1型糖尿病 ふるさと納税で研究支援」が掲載され、1型糖尿病や当法人の研究助成の取り組みが紹介された。	12月1日	佐賀市	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○TBSの「あさチャン」で佐賀県庁のNPO指定ふるさと納税が取り上げられ、1型糖尿病研究支援について紹介された。	12月2日	佐賀市	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○テレビ朝日「羽鳥慎一モーニングショー」のふるさと納税特集で、佐賀県庁の難病(1型糖尿病)支援の取り組みが紹介された。	12月4日	佐賀市	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○NHK総合「シリーズ地方サバイバル(1)町の“やりくり”大作戦」で1型糖尿病と佐賀県庁への日本IDDMネットワーク指定ふるさと納税が取り上げられた。	12月4日	佐賀市	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○ソフトバンク社様主催の「ハートラッピングプロジェクト～1億円達成に感謝の気持ちを込めて～」で、かざして募金による1型糖尿病研究基金への支援を呼びかけた。 実績:69回、53,700円 (50回以上を達成したのは全国で19団体)	12月4日 ～ 2月29日	東京都 佐賀市 大津町	4人	60000人	

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○「Wedge ウェッジ」2016年1月号に佐賀県庁のふるさと納税が取り上げられ、1型糖尿病及び1型糖尿病研究基金についても掲載された。	12月20日	佐賀市	2人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○ふるさと納税ポータルサイトふるさとチョイスの朝日新聞全面広告に1型糖尿病と免疫抑制剤を用いない膵島移植研究支援のためのふるさと納税の取り組みが紹介された。	12月25日	佐賀市	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○Ollumi社様のインスリン治療用製品「INSシリーズ」の売上の5%が1型糖尿病研究基金へ寄付されることになった。	1月～	彦根市	3人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○産経ニュースに「1型糖尿病根治研究に助成」が掲載され、佐賀県庁へのふるさと納税で集まった寄付を財源にiPS細胞研究に対し3件900万円の研究助成を決定したことが紹介された。	2月24日	安城市 佐賀市	2人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○佐賀県庁のふるさと納税「NPO支援」が、ふるさとチョイスアワード【東西番付2015】で「西日本の横綱」に選ばれ、日本IDDMネットワークの取組が写真入りで紹介された。	3月	佐賀市	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○小島芳栄堂様セレクトの「有田焼作品(第十五代酒井田柿右衛門氏、人間国宝 井上萬二氏、元禁裏御用窯元 辻常陸氏、日本工芸会正会員 中尾恭純氏ほか)」の売上の10%が1型糖尿病研究基金へ寄付されることになった。	3月～	有田町	4人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○大村専務理事の講演を聞いた護川小学校の児童が、研究資金を集めるために古本を集めたことが熊本日日新聞に掲載された。	3月6日	大津町	2人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○ソフトバンクグループ「ファミリーデー」に参加し、1型糖尿病や佐賀県庁への日本IDDMネットワーク指定「ふるさと納税」(用途:1型糖尿病根治研究助成)についてPRを行った。	3月19日	東京都	7人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○有明の風様の海苔漁師がつくる有明海産海苔のオンラインショップからの売上の10%が1型糖尿病研究基金に寄付されることになった。	4月～	佐賀市	3人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○ふるさと納税を財源とする国立国際医療研究センターと福岡大学によるバイオ人工膵島移植共同研究への5000万円研究支援やiPS細胞研究支援等について佐賀新聞の一面で紹介された。	4月6日	佐賀市	1人	60000人	

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○毎日新聞に「入園拒否、社会の理解不十分 活躍で壁なくす 阪神・岩田稔投手」が掲載され、1型糖尿病や岩田稔投手の1型糖尿病研究基金への寄付活動も紹介された。	4月6日	佐賀市	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○佐賀県庁への当法人指定「ふるさと納税」による取り組み(1型糖尿病根治に向けた研究助成)がHNK佐賀放送局で放映された。	4月8日	佐賀市	3人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○ふるさと納税による5000万円の1型糖尿病研究支援について、東京都の患者からの感謝の声が佐賀新聞「読者の声」に掲載された。	4月14日	佐賀市	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○3月29日に開催した国立国際医療研究センターへのバイオ人工膵島移植研究助成金(3000万円)贈呈式に関して「寄付金により先進的研究を推進、1型糖尿病の根治に向けた確かな前進ー日本の寄付文化を変える端緒にもー」と題するプレス配信を行い、産経新聞、読売新聞、時事ドットコム等13媒体に掲載された。	4月19日	東京都 佐賀市 大津町	4人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○寄付型クラウドファンディング“READYFOR Charity”で「注射を打つ毎日を変えたい。全ての糖尿病患者に移植のチャンスを」(日本国内に病原体がない医療用ブタを作成するためのオベ室と無菌飼育室を整備するプロジェクト)に挑戦したが、目標額の達成には至らなかった。 期間:2016年4月26日～6月25日 目標:20,000,000円 実績:6,780,000円(171人から支援) ※未達成のため全額キャンセル	4月26日 ～ 6月25日	佐賀市 大津町 ほか	4人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○1型糖尿病の根治に向けて佐賀県庁への日本IDDMネットワーク指定「ふるさと納税」による寄付金2000万円を福岡大学へ助成することとし、贈呈式を開催したところ福岡大学のWEB等に掲載された。	4月27日	福岡市	3人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○ふるさと納税活用で福岡大学へ1型糖尿病治療法を支援(2000万円研究助成)したことについて佐賀新聞で紹介された。	5月7日	佐賀市 大津町	3人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○朝日小学生新聞の取材に協力し「異種移植 その可能性とは？」が掲載され、1型糖尿病や膵島移植研究について紹介された。	5月19日	船橋市 佐賀市	2人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 広報	○日刊工業新聞に「患者にブタの膵臓細胞移植 糖尿病治療に資金募集」が掲載され、当法人のクラウドファンディングについて紹介された。	5月30日	佐賀市 大津町	2人	60000人	

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金(特別会計)広報	○日本経済新聞電子版に「臓器不足の解消へ一歩 ブタからヒトへの移植解禁」が掲載され、当法人のクラウドファンディング(READY FORプロジェクト)が紹介された。	6月13日	佐賀市 大津町	2人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計)広報	○佐賀新聞に「糖尿病 膝島移植用ブタ 豚舎整備へ協力を」が掲載され、当法人のクラウドファンディング(READY FORプロジェクト)が紹介された。	6月15日	佐賀市	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計)広報	○日常の食のコトでくらしを楽しむライフスタイルマガジン「ケノコ」に「治るよ」と言ってあげたい『子どもに多い1型糖尿病の未来をつくろう』と題して1型糖尿病と当法人の根治への取り組みが紹介された。	6月18日	佐賀市	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計)広報	○東京新聞に「医療用ブタ施設に寄付募る 明大・長嶋教授参加のプロジェクト」が掲載され、当法人のクラウドファンディング(READY FORプロジェクト)が紹介された。	6月21日	佐賀市 大津町	2人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計)広報	○佐賀新聞に「1型糖尿病 治る病気に」と題して、1型糖尿病とサイエンスフォーラムの結果について掲載された。	6月27日	鳥栖市	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) <主な寄付金収入実績>						
1型糖尿病研究基金(特別会計)	○山田圭子氏によるコミックス「【1型】～この赤ちゃん1型糖尿病です～」(秋田書店発行)の印税が1型糖尿病研究基金に寄付された。 寄付金額:454,945円	8月	安城市 佐賀市	3人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計)	○くりはら歯科医院様から入れ歯(貴金属)リサイクルを活用した寄付を頂戴した。 寄付金額:8,015円	9月	三原市	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計)	○ご遺族の根治の願いを叶えるため「山田和彦1型糖尿病根治基金」が設立された。 基金額:30,000,000円	10月30日	安城市 佐賀市	2人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計)	○「1-GATA」様が、熊本チャリティライブ+Sに出演し、その売上の一部が寄付された。 寄付金額:117,109円	11月7日	熊本市	4人	60000人	

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金 (特別会計)	○阪神タイガースの岩田稔投手から1勝10万円(計80万円)と「岩田稔選手プロデュースグッズ」売上の一部が1型糖尿病研究基金に寄付され、日刊スポーツ、西日本新聞等15以上のメディアで紹介され、1型糖尿病の啓発にも繋がった。	11月21日	西宮市	3人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計)	○「1-GATA」様からファーストシングル「キミ」の収益金が2回に渡って1型糖尿病研究基金へ寄付(計41万円)され、12月4日には記者会見を行った。デイリースポーツ、スポーツ報知等のスポーツ新聞に取り上げられ、1型糖尿病の啓発にも繋がった。 ○コンサート会場での募金活動にも協力いただいた。	通年	相馬市 伊達市 吹田市 ほか	6人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計)	○毎月定額(1口1000円)で当研究基金のサポートをいただくノーモア注射マンスリーサポーターから寄付を頂戴した。 サポーター数:147名で340口 寄付金額:3,720,000円	通年	全国各地	6人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計)	○コカ・コーラグループ各社様、(株)伊藤園様、サントリービバレッジサービス(株)様、(株)ジャパンビバレッジホールディングス様、大塚食品(株)様及び株式会社エフ・ヴィ・コーポレーション様、(特非)ジャパン・カインドネス協会様並びに難病・慢性疾患患者支援自動販売機を設置いただいた皆様のご協力により、その飲料売上額の一部が当研究基金へ寄付された。 設置台数:55台(17台新設※うち16台は新潟県中央工業高校同窓会のご尽力) 寄付金額:1,908,389円	通年	仙台市 下野市 千葉市 東京都 三条市 柏崎市 燕市 富山市 白山市 福井市 小浜市 鯖江市 越前市 南越前町 おおい町 名古屋市 京都市 綾部市 枚方市 門真市 東大阪市 神戸市 広陵町 岡山市 福山市 佐賀市 大分市	6人	60000人	

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金 (特別会計)	○(株)バリューブックス様と協働で家庭や職場に眠っている古本を提供いただく「ノーモア注射～希望の本プロジェクト」により寄付を頂戴した。 冊数: 18,217冊 寄付金額: 360,450円 ○パナソニックリビング近畿(株)、日本メトロニック(株)、東京のロータリークラブ、護川小学校から協力の申し出を頂戴した。	通年	全国各地	5人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計)	○(株)バリューブックス様の協力で家庭や職場にある書き損じ・未使用のハガキを提供いただく「書き損じハガキプロジェクト」により寄付を頂戴した。 枚数: 3,475枚 寄付金額: 180,820円	通年	全国各地	5人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計)	○ソフトバンクモバイル(株)様のご協力で、スマートフォンなどから寄付できる「かざして募金」により寄付を頂戴した。 寄付金額: 996,100円	通年	全国各地	4人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計)	○チャリティー専門のファッションブランドJAMMIN合同会社によるTシャツチャリティーが実施された。 寄付金額: 68,000円	10月19日 ～25日	名古屋市 佐賀市 大津町	4人	60000人	

(2) その他の事業 該当なし

平成27年度 活動計算書
平成27年7月1日から平成28年6月30日まで

認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク

科目	金額 (単位: 円)	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	504,000	
賛助会員受取会費	324,000	
その他の会員受取会費	1,239,000	2,067,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金 (活動一般)	10,615,115	
受取寄附金 (1型糖尿病研究基金)	115,905,058	126,520,173
3. 受取助成金等		
受取助成金	794,004	
受取負担金	6,925,210	7,719,214
4. 事業収益		
お役立ちマニュアル事業収益	1,654,959	
絵本等事業収益	171,026	
ストーリー本事業収益	43,826	
その他事業収益	27,000	1,896,811
5. その他収益		
受取利息	7,538	
雑収益	315,893	323,431
経常収益計		138,526,629
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	0	
法定福利費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
売上原価	1,000,996	
業務委託費	9,932,043	
印刷製本費	2,011,300	
諸謝金	179,522	
会議費	284,867	
賃借料	643,322	
消耗品費	24,158	
水道光熱費	0	
旅費交通費	1,967,102	
支払手数料	917,526	
租税公課	0	
通信運搬費	1,556,087	
諸会費	60,800	
新聞・図書費	11,982	
支払寄付金	66,121,780	
地代家賃	0	
支援用物品費	17,054,419	
雑費	71,307	
その他経費計	101,837,211	
事業費計		101,837,211
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	4,022,972	
退職金	30,000	
法定福利費	204,744	
厚生費	11,000	
人件費計	4,268,716	
(2) その他経費		
業務委託費	2,960,708	
印刷製本費	192,780	
諸謝金	0	
会議費	12,100	
減価償却費	110,673	
賃借料	8,300	
消耗品費	257,086	
水道光熱費	26,000	
旅費交通費	417,645	
支払手数料	436,263	
租税公課	623	
交際接待費	25,272	
通信運搬費	347,412	
諸会費	0	
新聞・図書費	0	
支払寄付金	13,000	
地代家賃	475,200	
支援用物品費	0	
雑費	5,213	
その他経費計	5,288,275	
管理費計		9,556,991
経常費用計		111,394,202
当期経常増減額		27,132,427
III 経常外収益		
1. 固定資産売却益	0	
2. 過年度損益修正益	0	
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
1. 固定資産除・売却損	0	
2. 過年度損益修正損	0	
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		27,132,427
法人税、住民税及び事業税		81,000
当期正味財産増減額		27,051,427
前期繰越正味財産額		34,871,910
次期繰越正味財産額		61,923,337

※本年度は「その他の事業」は実施していません。

平成27年度 財務諸表の注記

認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法を採用しています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定率法を採用しています。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

<一般会計>

(単位：円)

科目	ネットワークの 拡大・支援	情報収集提供・ 政策提言	調査研究	関係団体との 連携	普及啓発	療育相談	会報発行	熊本地震 対策	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益											
1. 受取会費											2,067,000
2. 受取寄付金											10,615,115
3. 受取助成金等											4,334,810
4. 事業収益											1,698,785
5. その他収益											316,775
経常収益計											19,032,485
II 経常費用											
(1) 人件費											
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,022,972	4,022,972
退職金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30,000	30,000
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	204,744	204,744
厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,000	11,000
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,268,716	4,268,716
(2) その他経費											
売上原価	0	0	726,296	0	219,024	0	0	0	945,320	0	945,320
業務委託費	0	269,530	83,672	0	0	881,280	18,125	0	1,252,607	2,960,708	4,213,315
印刷製本費	0	1,461,866	91,260	0	0	0	47,520	0	1,600,646	144,180	1,744,826
諸謝金	0	89,096	0	0	50,000	0	0	0	139,096	0	139,096
会議費	0	245,519	1,080	0	260	0	0	0	246,859	12,100	258,959
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	110,673	110,673
賃借料	0	281,280	0	0	0	0	0	0	281,280	8,300	289,580
消耗品費	0	13,937	804	0	0	0	0	0	14,741	257,086	271,827
水道光熱費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26,000	26,000
旅費交通費	0	918,761	9,314	0	43,640	0	0	0	971,715	416,685	1,388,400
支払手数料	1,080	22,937	257,792	0	0	0	0	0	281,809	59,463	341,272
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	23
交際接待費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25,272	25,272
通信運搬費	0	234,634	49,470	164	360	49,245	79,687	0	413,560	334,564	748,124
諸会費	0	30,800	20,000	10,000	0	0	0	0	60,800	0	60,800
新聞・図書費	0	10,402	0	0	0	0	0	0	10,402	0	10,402
支払寄付金	100,000	18,000	1,003,780	0	0	0	0	0	1,121,780	13,000	1,134,780
地代家賃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	475,200	475,200
支援用物品費	0	3,339,490	0	0	0	0	0	0	3,339,490	0	3,339,490
雑費	0	0	14,503	0	0	0	0	0	14,503	3,749	18,252
その他経費計	101,080	6,936,252	2,257,971	10,164	313,284	930,525	145,332	0	10,694,608	4,847,003	15,541,611
経常費用計	101,080	6,936,252	2,257,971	10,164	313,284	930,525	145,332	0	10,694,608	9,115,719	19,810,327
当期経常増減額											-777,842

<1型糖尿病研究基金特別会計>

(単位：円)

科目	1型糖尿病研究 助成金	シンポジウム	広報	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益						
1. 受取会費						0
2. 受取寄付金						115,905,058
3. 受取助成金等						3,384,404
4. 事業収益						198,026
5. その他収益						6,656
経常収益計						119,494,144
II 経常費用						
(1) 人件費						
給料手当	0	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費						
売上原価	0	0	55,676	55,676	0	55,676
業務委託費	0	36,950	8,642,486	8,679,436	0	8,679,436
印刷製本費	0	166,720	243,934	410,654	48,600	459,254
諸謝金	0	34,858	5,568	40,426	0	40,426
会議費	0	23,800	14,208	38,008	0	38,008
賃借料	0	362,042	0	362,042	0	362,042
消耗品費	0	9,037	380	9,417	0	9,417
旅費交通費	0	383,072	612,315	995,387	960	996,347
支払手数料	0	0	635,717	635,717	376,800	1,012,517
租税公課	0	0	0	0	600	600
通信運搬費	0	23,750	1,118,777	1,142,527	12,848	1,155,375
新聞・図書費	0	0	1,580	1,580	0	1,580
支払寄付金	65,000,000	0	0	65,000,000	0	65,000,000
支援用物品費	0	0	13,714,929	13,714,929	0	13,714,929
雑費	0	0	56,804	56,804	1,464	58,268
その他経費計	65,000,000	1,040,229	25,102,374	91,142,603	441,272	91,583,875
経常費用計	65,000,000	1,040,229	25,102,374	91,142,603	441,272	91,583,875
当期経常増減額						27,910,269

3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首 取得価額	取得	減少	期末 取得価額	減価償却 累計額	期末 帳簿価額
有形固定資産						
工具器具備品	0	399,168	0	399,168	△ 110,673	288,495
合計	0	399,168	0	399,168	△ 110,673	288,495

平成27年度貸借対照表

平成28年6月30日現在
認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク
(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	52,141,072		
未収入金	2,465,270		
棚卸資産	6,816,940		
貯蔵品	303,710		
前払費用	23,265		
仮払金	2,367,484		
流動資産合計		64,117,741	
2 固定資産			
工具器具備品	288,495		
固定資産合計		288,495	
資 産 合 計			64,406,236
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,360,173		
未払法人税	81,000		
前受金	30,000		
預り金	11,726		
流動負債合計		2,482,899	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負 債 合 計			2,482,899
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		34,871,910	
当期正味財産増加額		27,051,427	
正味財産合計			61,923,337
負債及び正味財産合計			64,406,236

平成27年度財産目録

平成28年6月30日現在
 認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク
 (単位:円)

科 目	金	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金 現金手許有高(一般会計)	0	
現金 現金手許有高(特別会計)	50,000	
普通預金 みずほ銀行佐賀支店(一般会計)	2,674,005	
普通預金 みずほ銀行佐賀支店(特別会計)	1,580,736	
普通預金 みずほ銀行佐賀支店(収益事業)	362	
普通預金 百五銀行員弁支店(一般会計)	0	
普通預金 三井住友銀行佐賀支店(一般会計)	11	
普通預金 佐賀共栄銀行本店(特別会計)	5,276,394	
郵便貯金 福岡貯金事務センター(一般会計)	281,035	
郵便貯金 福岡貯金事務センター(特別会計)	846,441	
郵便貯金 福岡貯金事務センター(収益事業)	2,160	
郵便貯金 ゆうちょ銀行総合口座通帳(一般会計)	414,360	
定期貯金(3年) ゆうちょ銀行(一般会計)	1,000	
定期預金(1年) みずほ銀行佐賀支店(一般会計)	3,006,000	
定期預金(3月) みずほ銀行佐賀支店(特別会計)	5,001,007	
定期預金(3月) 佐賀共栄銀行本店(特別会計)	30,003,184	
定期貯金(1年) ゆうちょ銀行(一般会計)	3,004,377	
未収入金		
未収入金(一般会計)	105,000	
未収入金(特別会計)	2,294,145	
未収入金(収益事業)	66,125	
棚卸資産		
お役立ちマニュアル(収益事業)	5,639,011	
絵本(収益事業)	364,654	
ストーリー本(収益事業)	800,280	
グッズ(収益事業)	12,995	
貯蔵品(一般会計)	303,710	
前払費用(一般会計)	23,265	
仮払金(特別会計)	2,367,484	
流動資産合計		64,117,741
2 固定資産		
工具器具備品(一般会計)	288,495	
固定資産合計		288,495
資 産 合 計		64,406,236
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		
未払金(一般会計)	1,235,287	
未払金(特別会計)	1,122,774	
未払金(収益事業)	2,112	
未払法人税(収益事業)	81,000	
前受金(一般会計)	30,000	
預り金(一般会計)	11,726	
流動負債合計		2,482,899
2 固定負債		
固定負債合計		0
負 債 合 計		2,482,899
正 味 財 産		61,923,337

注) 定期貯金、定期預金及び定期貯金の合計額6,011,377円が東京事務所開設準備積立金である。

前事業年度の年間役員名簿

平成27年7月1日から平成28年6月30日まで

認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク

役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事長	井上 龍夫	愛知県安城市	27年7月1日 ～28年6月30日	該当なし
副理事長	岩永 幸三	佐賀県佐賀市	27年7月1日 ～28年6月30日	該当なし
専務理事	大村 詠一	熊本県菊池郡大津町	27年7月1日 ～28年6月30日	該当なし
理事	後藤 昌史	宮城県仙台市	27年7月1日 ～28年6月30日	該当なし
理事	山本 康史	三重県伊勢市	27年7月1日 ～28年6月30日	該当なし
理事	松本 慎一	兵庫県神戸市	27年7月1日 ～28年3月31日	該当なし
理事	寺島 直樹	岡山県岡山市	27年9月1日 ～28年6月30日	該当なし
監事	古賀 敏久	福岡県久留米市	27年7月1日 ～28年6月30日	該当なし

前事業年度の社員のうち10人以上の者の名簿

平成28年6月30日現在

認定特定非営利活動法人日本IDDMMネットワーク

氏名	住所又は居所
特定非営利活動法人秋田県1型糖尿病の会 代表者：宮下正弘	秋田県秋田市
信州ぶらんこの会 代表者：白石直人	長野県松本市
つぼみの会三重 代表者：大久保和子	三重県津市
京都滋賀つぼみの会 代表者：岡京磁	京都府京都市
大阪くるみの会 代表者：高嶋一郎	大阪府高槻市
大阪杉の子会 代表者：園部政和	大阪府大阪市
岡山小児糖尿病協会 代表者：多賀 徹	岡山県岡山市
広島「もみじの会」 代表者：寺西明子	広島県広島市
特定非営利活動法人DMユース佐賀 代表者：坂本匡	佐賀県佐賀市
DM風の会 代表者：陶山えつ子	熊本県玉名郡和水町